

● 本市クラウド上に構築する場合(サーバ仮想化環境)

- 1) 情報システムは、クラウド仮想サーバ(VM上)のゲストOSにインストールし、動作すること。物理サーバの導入は認めない。
- 2) 情報システムの入出力データやバックアップデータ等は、クラウド仮想サーバ(VM上)と接続したストレージに格納すること。
- 3) クライアント仮想環境は、Citrix Virtual Apps及びシンクライアント、Edge及びOffice2024で構成されており、基本はWebシステムで動作すること。「Citrix Virtual Apps」へのクライアントモジュール等のインストールが必要なC/Sの場合は、情報政策課に相談し検証すること。

※ 2025年3月 現在はクライアント仮想環境はOffice2016を採用しているが、2025年10月にOffice2024への切替を予定している。

- 4) 仮想サーバ及びCitrix Virtual Appsのハードウェア及びソフトウェア、WindowsゲストOS、WindowsCAL、ウイルス対策ソフトは浦安市(情報政策課)で用意する。各情報システム側では、ミドルウェア・DBソフト・アプリケーションソフト・クライアントモジュール(ライセンス)を用意し、設定すること。

※DBソフトとしてOracleを採用する場合は、浦安市で購入しているライセンスを使用可。

- 5) 仮想サーバの構築は浦安市の指定するヒアリングシートを提出後、1か月程度の時間を要するため留意すること。

